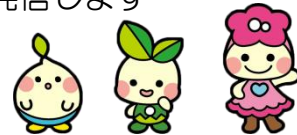


中野こども病院ニュース

令和元年12月10日発行 第76号

中野こども病院から患者保護者の皆様へ“今知ってほしい”情報を発信します

インフルエンザの流行が始まりました！



今シーズンはインフルエンザA型だけではなくインフルエンザB型も検出されています。

高熱による熱性けいれんの患者さんも増える時期であり注意が必要です。

熱性けいれんってなんで起こるの？

こどもの脳は、大人と違って未成熟です。経験も乏しく、いろいろな刺激にも慣れていません。とくに急な体温の変化には敏感に反応してしまい、過剰な電気活動を起こし、けいれんという症状を起こします。6歳頃になると起こさなくなるのは、発熱に慣れてくるからです。

こどもが熱性けいれんを起こしました！観察するポイント、気を付けることは？

一番大切なことは、あわてないことです。けいれんですぐに命に関わることはありません。深呼吸して、気を落ち着かせましょう。次にすることは、安全な場所に寝かせ、観察することです。チェックポイントは、顔色（土気色になることが多いです）・目の動き（白目を向くことが多いです）・体の動き（左右対称に硬くなったり、ピクピクします）などです。始まった時間も記憶しておきましょう。

熱性けいれんは予防できますか？

ダイアップ座薬という即効性のある薬を、発熱して早期に使えば予防できる可能性があります。ただし、ふらつきなどの副作用に注意が必要です。また、積極的に予防接種をして病気になりにくくすることも間接的な予防になります。

解熱剤は使ってもいいの？

解熱剤で熱性けいれんは予防できませんが、しんどさを和らげる効果はあります。ダイアップと同時に使うと効果が弱まるので、先にダイアップを使用し、30分以上空けてから、ぐったりしているなら使しましょう。

悪寒とけいれんの違いは？

高熱の時は悪寒（おかん）といって、ブルブルからだが震えることがあります。けいれんとの違いは、悪寒の時は意識はあること（呼びかけたら反応してくれます）、時間が短い（数秒から数十秒ブルブルします）ことです。ただし悪寒が見られるときは急激に体温が上がっていくサインですので注意してください。



ノロウイルスが流行しています！！

○嘔吐がひどいとき

吐いた物が気管に詰まらない様に顔を横向きにしてあげましょう。

○下痢がひどいとき

おしりふきでしっかり拭くよりも、シャワーで洗い流せばおしりは荒れにくくなります。

○水分や食事の摂らせ方

お子様が吐いたあとに欲しがるといってすぐに水分を与えると、嘔吐を繰り返してしまい逆効果です。嘔吐してから30分から1時間は何も与えず、吐き気がおさまったらスプーン1杯の水分からはじめ、少しずつの量を回数多く根気よくあげてください。与える水分としては経口補水液が有効です。食事は本人が欲しがらるもので大丈夫です。

※吐き気止めの座薬を有効に使しましょう

嘔吐が何回も続くとお子様は体力をととも消耗します。グタッリして脱水も進んでしまいます。吐き気が強い時に吐き気止めを使って、吐き気が落ち着いたら水分を少しずつあげてみましょう。本人がたくさん欲しがっても、絶対に少しずつです！！

当院の流行状況

インフルエンザが多く検出されてるようになりました。今シーズンはA型、B型とも検出されています。これからどんどん増えていく予想です。

マイコプラズマ感染症が流行しています。

学童期のお子様で咳が続いている場合は可能性が高いです。

ノロウイルスが検出されています。

下痢や嘔吐の症状で来院される患者さんも多い状況です。



〒535-0022 大阪市旭区新森4-13-17
社会医療法人 真美会 中野こども病院
TEL: 06-6952-4771
<http://www.nakano-kodomo.or.jp>



12月の製作物です！



当院を受診される患者保護者様へ

- 駐輪場が病院北側にあります。自転車で来院の際はご利用ください。
- お車で来院される際は、病院南側の立体駐車場をご利用ください。病院受診時や面会時にも無料にご利用いただけます。詳細は常駐している警備員にお声かけください。近隣のご迷惑になりますので路上駐車は絶対におやめください。
- 病院本館東側に車寄せがあります。患者様の乗り降ろしや、入院時の荷物の運搬やお迎えなどにご利用ください。なお、長時間の駐車はご遠慮ください。
- 待合の椅子には限りがあります。子どもたちが座れないことがないように、混雑時は譲り合っておかけ下さい。少しでも待合に多くの患者様が座って頂けるよう、ご協力宜しくお願い致します。
- 当院は全館禁煙、敷地内も禁煙となっております。病院の外で喫煙されても煙が病院内に入ってくることもありますので、病院周辺での喫煙もご遠慮ください。また、たばこのポイ捨ても絶対にしないでください。病気で来ている子どもたちのためにもご協力よろしくお願い致します。
- 診察、検査、処置が終わるまで飲食はご遠慮ください。もどしたり、咳込みの原因になります。